

## 第3期佐賀大学エスタブリッシュド・フェロー称号授与式

1 日時 令和6年3月14日(木) 16:00~17:00

2 場所 佐賀大学本庄キャンパス事務局2階 大会議室  
(控室 事務局2階 小会議室)

3 次第

・開式

・エスタブリッシュド・フェロー概要説明

・表彰楯授与(8名)

宮武 正登 (人文・社会科学域 教育学系 教授)

山口 夕妃子 (人文・社会科学域 芸術学系 教授)

早川 智津子 (人文・社会科学域 経済学系 教授)

木村 晋也 (医学域 医学系 教授)

中山 功一 (医学域 医学系 教授)

阪本 雄一郎 (医学域 医学系 教授)

郭 其新 (自然科学域 理工学系 教授)

徳田 誠 (自然科学域 農学系 教授)

・祝辞

・閉式

(閉式後、引き続き写真撮影、個別報道対応)

## 第3期佐賀大学エスタブリッシュド・フェロー 一覧

No.	氏名	所属	選考理由	研究業績データベース
1	ミヤタケ マサト 宮武 正登	教育学系	城館・城下町研究の第一人者であり、佐賀平野を中心とする中世の低平地城館の研究等で大きな成果をあげ、2020年に刊行した単著『肥前名護屋城の研究－中近世移行期の築城技法－』をはじめ多くの学術論文・著書を発表している。また、水中考古学分野でも、海外との窓口だった九州・沖縄地方特有の海底歴史遺産の現地調査に長く携わっている。さらに、全国自治体の文化財保護に係る有識者委員を数多く務め、研究成果を積極的に社会に還元している。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.c7564aa0d94cd37c.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.c7564aa0d94cd37c.html</a> 
2	ヤマグチ ユキコ 山口 夕妃子	芸術学系	日本マーケティング学会のサーチプロジェクトのリーダーを務め、その研究成果として、『地域創生マーケティング』を出版した。また、「広告学会九州部会 研究助成金」の獲得や「日本マーケティング本大賞」準大賞の受賞など、マーケティング学会での研究活動が極めて顕著である。「合格ようかん」の商品化や武雄市との連携プロジェクトにおいて中心的な役割を果たしている。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.78460373a10fecf6.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.78460373a10fecf6.html</a> 
3	ハヤカワ チゾコ 早川 智津子	経済学系	2冊目の単著『外国人労働者と法入管法政策と労働法政策』を刊行した。同書は、労働問題に関する社会的に有意義でかつ優れた図書を表彰する労働問題リサーチセンター第35回（令和2年度）沖永賞を受賞し、学術雑誌で取り上げられるなど注目度の高いものである。また、対象期間中に2冊の共著や英語論文を含む多数の学術論文を出版している他、ワークショップ企画の実績等があり、科研費等の外部資金を継続的に獲得している。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.226f537b6c7c1ede59c123490551be02.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.226f537b6c7c1ede59c123490551be02.html</a> 
4	キムラ シンヤ 木村 晋也	医学系	県外からも多くの患者さんが来院される血液学の第一人者である。研究代表者として5件の多施設共同前向き臨床試験を実施し、主な成果は欧米の治療ガイドラインにも引用されている。また、本学初の共同研究講座を開設し、新規抗がん剤 OP-2100の開発に成功した。これらの研究成果は高インパクトファクタの学術誌を含め多くの学術論文として出版されており、その業績により多くの表彰や研究助成を獲得している。さらに、11名の博士を輩出した。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.69b4741e14a547d0.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.69b4741e14a547d0.html</a> 
5	ナカヤマ コウイチ 中山 功一	医学系	再生医療・組織工学の分野において独創的な“剣山メソッド”を発明し、世界で初めての細胞だけで立体構造体を作製するバイオ3Dプリンターの開発・実用化に成功した。本学や京都大学での血管の臨床研究や末梢神経の医師主導治験の他、本技術を用いたさまざまな臓器の再生医療研究が国内外で行われ多数の学術誌に報告されているなど、非常に波及効果の大きな研究である。また、科研費をはじめ多くの外部資金を獲得している。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.2269cb39c4aafa1859c123490551be02.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.2269cb39c4aafa1859c123490551be02.html</a> 
6	サカモト ユウイチロウ 阪本 雄一郎	医学系	医療機関ネットワーク事業に開始当初から継続的に参画し、事故情報の収集・提供の責任者として尽力している。また、消費者事故に関する消費者への啓発に多大な貢献をしており、2022年には消費者庁の消費者支援功労者表彰内閣総理大臣表彰等を受賞している。コロナ対応においては佐賀県の本部長として陣頭指揮をとり、佐賀県県政功労者表彰を受賞している。科研費など外部資金の獲得も多く、多くの英語論文の発表を行っている。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.dfa4688f1ac60987.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.dfa4688f1ac60987.html</a> 
7	クオ チーシン 郭 其新	理工学系	シンクロトン光および化合物半導体の研究分野において活発な研究活動を行っており、極めて多くの学術論文を公表するのみならず、対象期間中5件がTop10%引用論文であった。また、スタンフォード大学とエルゼビア社が発表した世界のトップ2%の科学者にもランクインしている。科研費をはじめシンクロトン光応用研究センター長として文部科学省連携融合事業等の重点経費の獲得にも貢献している。修了予定者も含めて7名の博士を輩出している。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.8d73629d92bbf120.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.8d73629d92bbf120.html</a> 
8	トクダ マコト 徳田 誠	農学系	システム生態学、応用昆虫学および「植物－植食者間相互作用」に関する研究において、科研費をはじめとする多くの外部資金を獲得するとともに、その研究成果を多数の学術論文として公表している。5名の博士課程学生の指導も担当しており、研究者養成面での貢献も大きい。2023年度に実施したSAGAむし結びのイベントでは、県内の多くの企業・団体を巻き込んだ企画の立案を行った。	<a href="https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.1e89bf9ca7e18a8f.html">https://research.dl.saga-u.ac.jp/profile/ia.1e89bf9ca7e18a8f.html</a> 

\* 全て教授職

# 「エスタブ リッシュト」 (established) ・フェロー」 制度（第3期）について（概要）

事 項	概 要
エスタブ リッシュト (established) ・フェロー（卓越研究者）とは	<p>佐賀大学において、自由な発想のもと、基礎的な研究や強み・特色のある世界的又は全国的な教育研究活動を推進するにあたり、特に研究の分野において、先駆的・先導的な役割を担っている教育職員（教授職）に対し、称号を授与し、その研究業績と功績を可視化するもの。</p> <p>今回、第3期（令和5年度～令和7年度）における称号授与を行う。</p>
評価項目・対象期間	<p>○科研費をはじめとする外部資金獲得状況、博士課程学生への研究指導、各種研究成果に関する賞の受賞、著書・論文数、共同研究績、特許出願件数、研究リーダーとしての実績等。</p> <p>○過去6年間（平成29（2017）～令和4（2022）年度）の実績。</p>
授与人数	<p>第3期は、3学域6学系から、8名の研究者へ称号を授与。</p>
授与者の選考	<p>総合研究戦略会議のもとに選考委員会（委員長：研究担当理事）を設置。役員会の議を経て、学長が決定。</p>
授与後の広報等	<p>「佐賀大学エスタブ リッシュト」 ・フェロー」の称号を授与した後、紹介ホームページの作成などにより学内外に広く広報。</p>

## 第2期佐賀大学エスタブリッシュド・フェロー

氏名	所属・職名	選考理由等
いずはら けんじ 出原 賢治	医学系・教授	アレルギー疾患の発症機序に関する研究を行うとともに、企業と連携して、その基礎的知見を臨床的実用化に繋げており、SCCA2測定システムを小児アトピー性皮膚炎の対外診断薬とすることに成功し、保険収載されている。 また、科学研究費補助金の獲得に意欲的に取り組み、基盤研究や挑戦的萌芽研究を獲得している。
きむら しんや 木村 晋也	医学系・教授	臨床研究においては世界初の第二世代ABL阻害剤の中止試験を行うとともに、基礎研究においても研究成果を多数の学術雑誌に報告しており、これらの研究の業績により日本がん分子標的治療学会学術賞「鶴尾 隆賞」を受賞している。 また、科学研究費補助金では基盤研究獲得の実績を有するとともに、博士後期課程の学生指導においても多大な貢献をしている。
の で こういち 野出 孝一	医学系・教授	心血管不全・時計遺伝子等の基礎研究や多くの多施設介入試験の研究代表者として循環器研究に取り組んでいる。 また、外部資金の獲得が著しく科学研究費補助金や受託研究・共同研究などの実績を有するとともに、多くの論文を発表している。
かすう まこと 嘉数 誠	理工学系・教授	環境、エネルギー社会に期待されるダイヤモンド半導体の先駆的な研究を行っており、本学において世界的に傑出した数々の成果を上げている。 また、科学研究費補助金基盤研究の獲得や多数のNEDOプロジェクトの採択など、外部資金の獲得に意欲的に取り組んでいる。
みやら あきお 宮良 明男	理工学系・教授	機械工学における熱工学を基礎とし、冷凍・空調の分野で地中温暖化の抑制に貢献する研究を行っており、特に、国際的な条約に基づいて削減される既存冷媒に代わる新規冷媒の実用化のための熱物性計測に関しては、世界に先駆けて粘度や熱伝導率のデータを公開している。 また、これらの研究を通して、NEDOプロジェクトの採択や共同研究などの外部資金を獲得するとともに、博士後期課程の学生指導においても多大な貢献をしている。

注) 評価対象期間: 平成26年度～令和元年度の6年間

## 第1期佐賀大学エスタブリッシュド・フェロー

氏名	所属・職名	選考理由等
きむら しんや 木村 晋也	医学部 教授	外部資金の獲得が著しく、科研費では基盤研究(C)獲得の実績を有するとともに、博士後期課程の学生指導においても多大な貢献をしている。 また、「ABL阻害剤の中止」に関する研究成果は、社会的に注目され、日本経済新聞、読売新聞など多数のメディアで紹介されている。
たなか とおる 田中 徹	工学系研究科 教授	科研費の若手研究(B)、基盤研究(B)をそれぞれ一回獲得するとともに、外部資金の獲得も著しく、工学系の若手研究者として活躍が顕著である。 また、「次世代の超高効率・低コスト太陽電池の開発」で得られたZnTeO中間バンド太陽電池について、その実現可能性を明確に示した研究成果で国際的に高い評価を得ている。
みしま のぶお 三島 伸雄	工学系研究科 教授	科研費の基盤研究(B)、基盤研究(C)、挑戦的萌芽研究をそれぞれ獲得し、その研究成果は多くの論文として発表している。 また、「歴史的な地方都市における災害時要援護者を視野においた避難ルート計画に関する一連の研究」は防災分野で国際的に高く評価され、日本学術振興会の二国間共同研究に発展している。
すずき あきひろ 鈴木 章弘	農学部 教授	科研費の獲得に意欲的に取り組み、基盤研究(B)を一回と挑戦的萌芽研究を三回獲得し、際立った実績を上げている。 また、「マメ科植物の根粒形成に及ぼす光質の影響に関する研究」を国際的に先導し、その成果は国内に留まらず国際的に高く評価される論文となっている。
はやかわ よういち 早川 洋一	農学部 教授	科研費の基盤研究(A)、基盤研究(B)をそれぞれ一回、挑戦的萌芽研究を三回獲得し、本学における科研費の獲得実績は特筆すべきものがある。 また、ほ乳類の免疫系タンパク質で報告されているITAMモチーフ構造を昆虫のサイトカイン受容体アダプターにおいて発見し、基礎医学分野における生理的機能解析とITAMモチーフの進化・比較研究に多大な寄与が有り、国際的な研究成果となっている。
ながた しゅういち 永田 修一	海洋エネルギー 研究センター 教授	外部資金の獲得に意欲的に取り組み、科研費においては基盤研究(B)を獲得している。 また、「空気タービンを用いる振動水中型波力発電装置の開発」では世界最高効率の空気タービンを用いた波力発電装置として高く評価され、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の波力発電プロジェクトで採用されている。 さらに、「渦法に基づく粘性流体解析法」の開発に基づく論文は、日本船舶海洋工学会賞(論文賞)、日本造船工業会賞及び日本海事協会賞の3賞を受賞している。

注) 科研費の獲得実績等、評価対象期間は平成23年度～28年度の6年間の実績